市議会だより

大月市　平成 31 年 2 月 28 日発行　No.153

特集　対談／森林組合と市議会

CONTENTS

・特集（対談）
【森林組合と市議会】……P. 2～
・平成 30 年第 4 回（12 月）市議会定例会
（主な議案の内容）……P. 4～
・議決結果等一覧表……P. 6
・代表質問／一般質問……P. 7～13
・行政視察研修報告……P.14～16

特集

森林整備を考える

対談
森林組合と市議会

意見交換会は、市議会として市民活動が進めやすい環境を整えるために施策のヒントや知恵を発見しようと進めているものです。

総務産業常任委員会

・相馬　力委員長　・大石源廣副委員長
・古見金弥委員　・西室　衛委員
・小原丈司委員　・鈴木章司委員

森林行政のためお互いに努力しましょう　【市議会】

森林環境譲与税が現場の助けとなるよう市議会でも対応してほしい　【森林組合】

Q　森林組合の組織と事業の概要は。（市議会）

・大月市森林組合は、大月市内を管内としています。大月市では森林が市域の約９割を占めるなど豊かな自然環境の中にあります。

管内の森林面積は２４、１１１haで、うち民有林が１１、７５６haとなっており、当組合では主に民有林の森林整備を行っています。

組合組織の内容は、組合員数１、７７５名、棚本組合長以下、副組合長が２名、理事が19名、監事が４名、総代の数が２００名、職員５名、作業員２名で運営、活動しています。

主な事業として、山梨県補助事業の「間伐」「木材搬出・作業道の作設」、分収造林事業の「植付・下刈・枝打ち・除伐・間伐」などです。内訳としては、山梨県補助事業が60％、分収造林事業が30％、その他が10％となっています。

また、販売部門として、苗木、椎茸原木、薬剤などを取り扱っています。

Q　何か困りごとは。（市議会）

・大月市は急峻な山が多く、特に奥山では木材の搬出が難しいため、切り捨て間伐をしています。間伐材の活用がいわれる中で、今後、切り捨て間伐ができなくなるのではないかと心配しています。

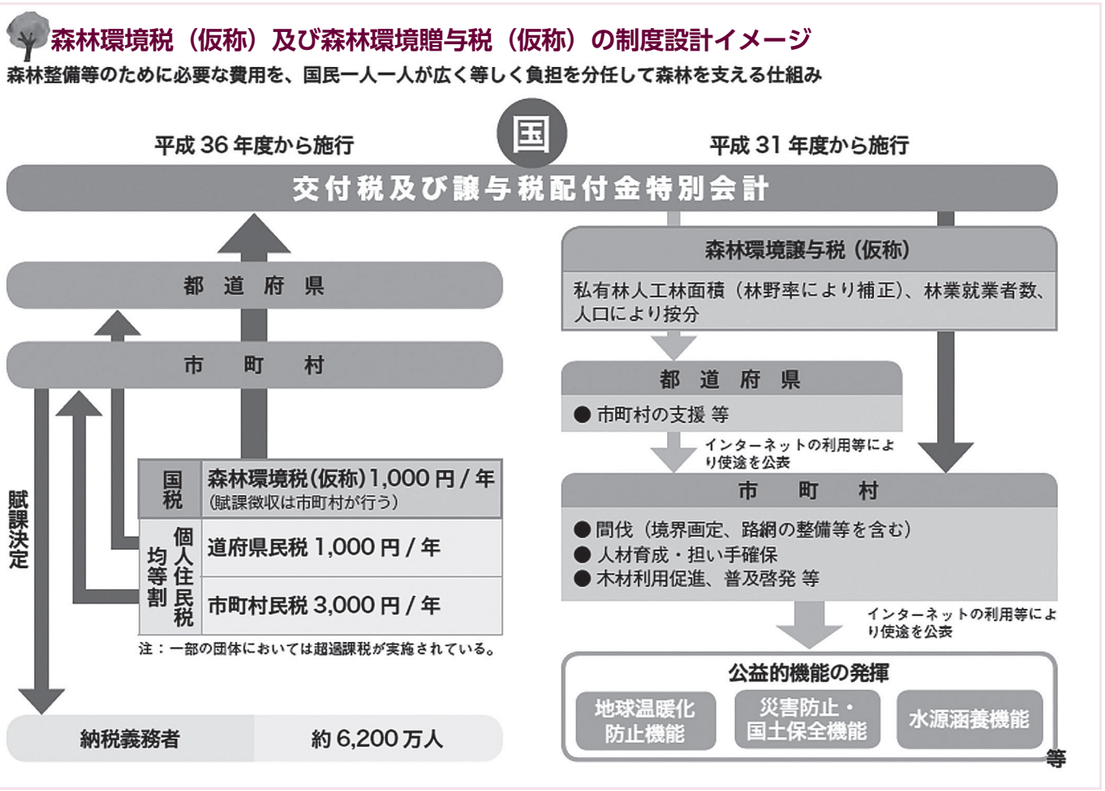
来年度より導入される森林環境譲与税では切り捨て間伐を含む多くの森林整備が取り入れられるよう期待しています。

※全国森林環境税（仮称）とは。

全国森林環境税は２０２４年度から施行、それを市町村に譲与する森林環境譲与税は２０１９年度から施行されます。森林環境税は、地球温暖化防止や火災防止等を図るための地方の安定的な財源であり、森林の整備が進むことが期待されています。

市町村が実施する森林・林業対策

造林事業／下刈事業／除間伐事業／林道整備事業／地籍調査事業／育成林整備事業／緊急雇用創出事業（林業従事者）



Q　ふるさと納税の返礼品に何か出せませんか。（市議会）

・森林組合では、乾燥シイタケを販売したことがありますが、今はしていません。シイタケの植菌などは時期が限られるので、馴染まないように思いますが、現在導入に向け検討しています。

大月市のふるさと納税は６００万円台から４、０００万円台に劇的に増えましたので、特色ある返礼品を掘り起こしたいです。

Q　バイオマス発電事業との関係は。（市議会）

・発電所はチップ材でないと受入れないため、市内の林業社が木材を買い入れチップにする中間事業を始めましたので、森林組合でも初めて53トン搬入しました。

これまでは山梨市にあるチップ工場へ工業用や建築用のチップ材として出荷していましたが、バイオマス燃料として市内の林業社での受入れのため、運搬の時間やコストが抑えられるなどメリットがあり、地域林業としても貢献していると考えています。

・木材運搬用のトラックや林業用重機はリースが無いことから、個人が搬入するにはハードルがありますが、関係者のところで協議されることになると思います。

大月市森林組合

【お礼】

いつも思っていますが、山梨県、特に日本は森林行政がしっかりしないと、国がなかなか思うように行かないと思いますので、微力ではありますがお互いに努力をし、これからの大月市、山梨県を築いて行きたいと思います。市議会としても勉強して、森林環境譲与税がみなさんのためになるように対応を検討したいと思います。

是非、職員の皆さんには頑張っていただきたいと思います。よろしくお願いします。今日はありがとうございました。

大月市議会第4回定例会
こんな事が決まりました
11月30日～12月19日（20日間）

今定例会の議案

市長提出
- 報告……1件
- 条例案件……4件
- 補正予算案件……14件
- その他の案件……2件

議会提出
- 条例案件……1件
- 陳情……1件

主な議案の内容

条例

◎大月市手数料条例中改正の件

印鑑登録手帳再交付の手数料は200円

大月市印鑑条例に規定されている手帳の再交付について、手数料の徴収を規定するもの。

予算（補正）

◎平成30年度　大月市一般会計補正予算（第4号）

台風24号に係る災害復旧費についての追加補正を行うもの。

（2、880万円）

◎平成30年度　大月市一般会計補正予算（第5号）

職員給与費の見直し、前年度繰越金確定及び各事業の精査、見直しなどによる補正を行うもの。

（3億2、358万円）

◎平成30年度　大月市一般会計補正予算（第6号）

人事院勧告に伴う職員給与費等及び大月市真木財産区議会議員の欠員による選挙執行経費の補正を行うもの。

（1、051万円）

その他

◎地方独立行政法人大月市立中央病院に承継させる権利を定める件

病院の地方独立行政法人化移行への手続きです

大月市立中央病院の地方独立行政法人化に伴い、地方独立行政法人大月市立中央病院に承継させる権利を定めるもの。

◎市道の路線認定の件

百蔵線・下和田宮谷線・東和宮原線・真木原平線の市道の路線認定を行うもの。

現地視察

◎生活道路の応急復旧に関する陳情書

台風24号の災害における市道綱本線の復旧に関する陳情書に対し、会期中に復旧工事の方向性が定まったことから、みなし採択となりました。

委員会審査の様子

●総務産業常任委員会

市議会議員選挙における選挙運動用ビラの公費負担について

Q　市長も議員も一緒ということか。

A　市長については、既に条例化されていて認められています。ここで市議会議員を加えるような形になります。

Q　市の単費ということならば財政難の本市には要らないのではないか。この条例が通らなければ、個人としてのビラを出せないということか。

A　公職選挙法で改正されているので、ビラを配ることは可能です。ただし、市で用意した証紙を貼って4、000枚という規定の範囲内で、あくまで個人負担という形になりますが可能です。

Q　交付税の算定が認められるのか。また、新聞報道について、県選管から指導はあったのか。

A　予算作成の段階では一般財源としていましたが、選挙経費は交付税算定され、市全体経費に入ってくるので、単費という言葉は説明不足でした。本日の内容を踏まえて、報道に対しても説明したいと思います。

●社会文教常任委員会

中央病院の独法化について

Q　承継する財産についてはプラスのものだけでなくマイナスのものも引き継ぐのか。資本を増強しスタートさせるという考え方があると思うが、そのために市が肩代わりし返済するということか。

A　3月31日現在の資産が承継されるのであい金があれば引き継がれます。現在は病院も市の組織であり、病院が償還しています。繰出基準の中で2分の1が市の負担分になるため、市が繰出しした2分の1に上乗せし病院で返済しています。法化後は市が全額返済するが、逆に2分の1は病院が負担することになります。

Q　繰出し等の市の担当は、保健介護課だとわかりづらい。市民には企画財政課のほうがわかりやすいのではないか。市民にわかりやすくするよう検討してほしい。

A　今までは市から病院というお金の流れは一通行でしたが、今後は双方向になってきます。その辺はわかりやすくしようと思いますが、衛生費ということもあり、山梨県においても福祉保健部であるので、これまでは、保健介護課でした。評価委員会や病院改革プランの進行管理などの関係もあり、総合的に判断していきたいと思います。

給食センターの業務の一部民間委託について

Q　現在、勤務している人はどうなるのか。

A　賃金職員として雇用している職員については、出来る限り委託業者が引き続き雇用していただくようお願いしたいと思います。

Q　1年待った方が余裕を持って履行出来るのではないか。財政負担を減らすことが出来るということが一つの条件でもあると思うが、余裕を持った選定がなされないと、余裕を持った対応が出来ないのでは。

A　これを先延ばしにすることは、市の財政的な面で改善を先送りにすることとなるので、早い時期に履行したいということで、当初の予定をしていた来年4月からの移行を是非したいと考えています。

今現在、大月市に指名参加願が出ているこの業務を受けられる業者が6社あり、その6社で指名競争入札をするか、その方々を対象に一般競争入札で行うことになるかと思っています。

ズバリ！

市政を問う

12月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

●代表質問

（1）西室　衛議員　（清風会＆公明）　8ページ

①市立中央病院の独法化への準備状況は
②体育館へのエアコン設置状況は

（2）鈴木基方議員　（大月再生クラブ）　9ページ

①石井食品のハンバーグ用タマネギの特産化を
②定住促進事業助成金制度は縮小すべきでない

（3）小林信保議員　（創生おおつき）　10ページ

①人件費が高い原因を分析しメスを入れるべきでは
②事業の費用対効果を客観的に検証できる仕組みに改めるべきでは

（4）小原丈司議員　（山と川の街大月）　11ページ

①台風の被害に何を学び、それをどう生かすのか
②管理費等の負担金を父兄に求めないことを要望し、実現すべき

●一般質問

（5）相馬　力議員　12ページ

①財政健全化については、市政運営が間違っていたと認めますか
②知事選経費の内、事務従事者の手当の額は

（6）藤本　実議員　13ページ

①授業数に見合う教員増を国に求める考えは
②重度医療の給付変更をどう認識しているか

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（3月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/）で閲覧することができます。

平成30年12月定例会 議決結果等一覧表

賛成○　反対●　棄権ー　※山田 善一 議長を除く

種別	議案番号	案件名＼議員名	萩原剛	大石源廣	相馬保政	奥脇一夫	古見金弥	小泉二三雄	西室衛	小原丈司	鈴木章司	小林信保	藤本実	相馬力	鈴木基方	結果
報告	専決第12号	平成30年度 大月市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	第56号	大月市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件	●	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	原案否決
条例	第57号	大月市手数料条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例	第67号	大月市職員給与条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例	第68号	大月市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例	第76号	大月市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第58号	平成30年度 大月市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
補正予算	第59号	平成30年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第60号	平成30年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第61号	平成30年度 大月市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第62号	平成30年度 大月市下水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第63号	平成30年度 大月市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第64号	平成30年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第69号	平成30年度 大月市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第70号	平成30年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第71号	平成30年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第72号	平成30年度 大月市簡易水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第73号	平成30年度 大月市下水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第74号	平成30年度 大月市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算	第75号	平成30年度 大月市病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	第65号	市道の路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	第66号	地方独立行政法人大月市立中央病院に承継させる権利を定める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情	陳情第1号	生活道路の応急復旧に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	みなし採択

代表質問

清風会＆公明
西室　衛

Q 市立中央病院の独法化への準備状況は

A 協議を重ね、順調に進んでいる

問 地方独立行政法人化を31年4月設立としましたが、準備状況は。また、山梨県との事前協議並びに職員組合との協議の状況は。

答 総務部長

山梨県との事前協議等を進めていく中で修正の必要な箇所が指摘されており、評価委員会を開催して意見をいただいた上で再度修正案を提案したいと考えています。また、中期計画については、4月1日の法人設立時に議決が必要となりますので、臨時議会でご審議いただきたいと考えています。

山梨県との事前協議については、現在、計画（案）と収支計画の協議をしていますがからはおおむね順調にでいるとの見解が示さした。今後も、指摘事助言をいただく中で事議を完了し、認可申請めたいと考えています。

答 病院事務長

大月市職員組合及び評議会とは、市議会へ出議案、法人化への事捗状況などについて、や協議の場を設け、情供に努めています。ま地方独立行政法人設立の一環として、就業規給与規程等の作成につしては、本年4月以降則等の素案を病院評議提示し、数回の要望書理により、その回答やの修正を行いながら、下旬には職員を対象に会を実施し、来年4月の法人化を目指していきます。

Q 体育館へのエアコン設置状況は

A 全ての学校の体育館にエアコン設置はしていない

問 防災対策について、市内の小中学校体育館へのエアコン設置状況と富士山噴火災害時、市の被災者受け入れ態勢とその計画は。また、液体ミルクを常備品に加える考えは。

答 総務管理課長

市内小中学校7校に県内でもいち早く全教室にエアコンを設置しましたが、体育館については全ての学校においてエアコンの設置はしておらず、今後の計画についても現在は予定していません。

富士山噴火災害時、大月市の被災者の受け入れ態勢については、平成27年3月に策定された富士山火山広域避難計画に基づき、本市は忍野村からの避難者を3、500人受け入れることとなっており、噴火時には、山梨県が避難における調整を行い、本市が一時集結地及び避難所の開設準備を行い、その後、忍野村からの派遣職員により避難所を開設、運営準備等を行います。

次に、液体ミルクを常備品に加える考えについては、乳児用液体ミルクは、災害時に赤ちゃんの命をつなぐための備えとして注目されています。今後、備蓄品としての購入や販売業者との協定等について検討します。

代表質問

大月再生クラブ
鈴木　基方

Q 石井食品のハンバーグ用タマネギの特産化を

A 条件等を確認しながら今後対応していきたい

問 地域活性化についての内、農地の鳥獣害対策については、動物駆逐用煙火の講習会を開くべきだが如何か。また、石井食品が商品化したハンバーグ用のタマネギの特産化に関し、買い取り価格が安いという問題があるが、差額を埋める上乗せができる補助金などがあるか。

答 市長

議員提案の動物の追い払いに特殊な火薬を使うには安全講習会の受講が必須となるため、必要に応じ講習会などを開催することにより、農家の皆様へ鳥獣害対策への技術や助言をおできればと考えていま

答 産業観光課長

ハンバーグに利用すマネギはまだ拡大の余あり、地域の特産化がされています。単純に値に対して上乗せするは、今の時点では難し考えています。

ただし、市内の水田ち再生可能ながら耕作ていない農地が全体の割、37ヘクタールあるから、これを利用してネギを地域振興作物と宣伝し、ある一定面積耕作することで国の経得安定対策交付金の配受けることができる可も調べたところありま条件等を確認しながら後対応していきたいとています。

Q 定住促進事業助成金制度は縮小すべきでない

A 収入に見合った支出の原則に従う

問 大月市定住促進事業助成金制度の見直しについて、最高限度額を3分の1に減額することよりも、ほかに削るところがあるはずだが。

答 副市長

現在、平成31年度予算の編成作業を行っているところであり、まだ確定していないことから、詳細を申し上げることはできませんが、収入に見合った支出の原則に従い、事業の優先順位や財政負担の平準化を予算編成の基本的な方針としています。

再質問

問 大月市定住促進事業助成金制度は、たかだか1、500万円から1、600万円程度の予算削減のために縮小してよい事業ではない。誰のための市政運営で、何を目的とするのか。

答 総務部長

予算編成は収入に見合った支出を基本としていますので、限られた財源を有効に使う中で、市民生活に欠かすことのできない事業を初め、将来負担を見据えながら優先度を判断して、市民の皆様のために各種事業の推進に努めてまいります。